

第42回議会報告会 ～市民との意見交換会～ 開催

令和5年5月6日(土)中央公民館講堂(オンライン同時開催)にて第42回議会報告会を開催しました。

第1部の3月定例会の報告では建設水道委員会、企画文教委員会、市民福祉委員会の報告をしました。第2部の「市民との意見交換会」では次のような質疑・応答がありました。



特別委員会について

問 市議会には特別委員会があるが、どのような活動をしているのか。

答 〈議会改革特別委員会〉平成22年に議会改革特別委員会を設置し、議会改革を進めてきている。議会のデジタル化は、令和2年にタブレットの導入を決定、令和3年2月にペーパーレス会議システムを導入・運用を開始した。広報広聴の取り組みとして、議会報告会を年に4回毎定例会後に実施している。令和4年からは、より多くの市民の意見を聞く場を設けるため、委員会座談会を設置。議会モニター制度は、令和3年度から導入。今後の取り組みとしては、タブレットの有効活用や議会のライブ配信等、作成したミッションロードマップをもとに進めていく予定。

〈知立駅周辺整備特別委員会〉知立駅周辺整備特別委員会では、過去に鉄道高架事業の総事業費が610億円(現在は、事業期間5年延伸、総事業792億円)の時、国、鉄道事業者の負担を除き、愛知県と知立市の負担割合が1対1の130億円。特別委員会では、知立市の財政力に対して、余りにも大きな負担であることから県・市負担割合の見直しを県に求めるよう提案、議会の総意として市当局を動かし一体で県と交渉し、国負担軽減を含めて22億円の市負担軽減を実現。また、三河知立駅の移転による負担軽減を提案して5億円の軽減を実現してきました。現在施行中の事業の総事業費は1000億円、今後、市が事業化を目指している西新地地区再開発事業、知立駅南土地地区画整理事業を含めると1200億円になる。常任委員会である建設水道委員会で審査ができるが、特別委員会は知立駅周辺整備事業に特化して集中的に審査、チェックしている。

下水道料金値上げについて

問 下水道料金の値上げは、議会の総意か。

答 物価高騰の最中になぜ値上げを行うのかという意見。一般会計からの繰り入れが意味するのは、下水道を使用していない人からの税金も充当されており公平性に欠けるという意見。下水道料金の値上げについては様々な意見があり、賛成多数で可決したが全会一致ではない。



知立駅周辺環境について

問 豊田市や刈谷市では駅前に公衆Wi-Fiを設置しているが、知立市の設置予定は。

答 市役所内での公衆Wi-Fiの議論はしたことはあるが、駅前に設置することを議論した記憶はない。良い意見だと思うので議会で議論していきたい。